

一般質問

市の明日を考える!

6月定例会の一般質問は、6月18日から20日までの3日間にわたって行われ、15人の議員により、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画中継をご覧くださいませ。

[発言順]



加藤 建也

[市政刷新会議]

問 特別支援学校設置の進捗状況について伺う。

答 県教育庁では、保護者代表者、福祉関係者、学識経験者からいただいた意見を踏まえ、7月11日に「安達地区特別支援学校設置に係る第2回懇談会」を開催する予定である。

問 特別支援学校の開設はいつ頃か伺う。

答 開校目標年度は「平成30年代半ばを目途とする」。本宮市、大玉村と連携しながら早期設置に向けて取り組む。

問 再生可能エネルギーの導入について、具体的

にどのような手法で導入するのか伺う。

答 新たな戦略的取り組みとして、再生可能エネルギー・自然エネルギーを利用した太陽光発電、水力発電、バイオマス発電などを推進し、二本松市で使用する電力はすべて、二本松市で発電し供給できる体制を構築したい。これらの事業を進める一つとして、市民が中心となり市民電力会社を設立し、市内で生産した電力で市内のエネルギーを100%賄う、エネルギーの「地産地消」を目指す。

再生可能エネルギーの導入手法は

市内循環バス運行をどう考えているか

自然休養村管理センターの再利用はできないか

問 合併し14年目。中心市街地の形成は待ったなしである。二本松市中心部とサブ拠点の油井地区を結ぶ市内循環バスの運行は周辺地域との連携体制を作ることにもなり、買い物や通院等の利便性も向上し市発展に寄与するものと考えますが、市の考えは。

答 中心市街地の活性化は、市全体の発展に大いに寄与するものであり、そのための交通政策についても重要であると認識し、今年度は安達地域を運行しているコミュニティバスにつ

いて、二本松駅までの延伸ができないか検討の着手をしたところである。

問 城山高台からの景色観賞は素晴らしいものである。現在は、観光課の資材置き場や文化課の保管庫になっている管理センターを、観光客のためにも再利用できないか伺う。

答 歴史資料館や市民ギャラリーの様な利活用を検討しようとするれば、各施設や設備の取り換えに多額の経費が見込まれるので、教育委員会としては再利用は考えていない。



平栗 征雄

[市政刷新会議]



石井 馨

[あぶくま会]

- 問** 生活習慣病の予防として、特定健康診査、後期高齢者健康診査受診率向上への取組みは。
- 答** 平成29年度の受診率はそれぞれ43.1%、17.7%であり、受診率向上への取組みとしては受診者の負担軽減として、平成28年度から受診料を無料にするとともに休日にも集団検診の実施と平成29年度からは受診期間を2月までと2カ月間延長し、利用しやすくした。
- 問** 住民のアンケートにもあるように交通機関の不便さ、それに伴う買い物や医療機関を利用

市民の健康増進についての取組みは

地域福祉計画課題への対応は

- することの不便さについてどのような対応を考えているか。
- 答** 交通機関の不便さへの対策として、4月からのデマンドタクシーのコース変更や地域の取組みとしては助け合いによる移動の仕組みの構築を進め、移送ニーズの把握、NPO等による移送サービス支援、障害者等移動困難者への福祉交通による支援等を進めていく。

第2子以降の保育料無料化拡大を求める

学校給食への地場産食材の利用は進んでいるのか



菅野 寿雄

[市政会]

- 問** 本年度における待機児童解消状況は。
- 答** 昨年は51人であったが、今年4月現在では29人まで減少したが解消には至っていない。
- 問** 解消に向けての取組みをどう進めるのか。
- 答** 来年4月開園予定の私立保育所への補助金支出による支援、保育士就業支援の継続、市立幼稚園での預かり保育対応の拡大等に努めていく。
- 問** 第2子以降の児童に対して保育に係る全期間を対象に無料化を検討すべきではないか。

- 答** 待機児童の解消を最優先に考えており、第2子以降の全期間無料化は総合的検討を要する。
- 問** 学校給食運営委員会において地場産食材利用基準はどのように検討されたのか。
- 答** これまで県内食材は基本的に使用しないこととしてきたが、本年度より放射性物質測定を前提にして利用を再開することとした。
- 問** 公設地方卸売市場の利用拡大は進んだのか。
- 答** 給食センターにおける利用の実現には至っていない。



小野 利美

[無所属]

- 問** 野球やサッカー場、屋内運動施設などの機能を持つ多目的広場の施設整備について、新たな考え・計画はあるか。
- 答** 市民の健康増進のためのスポーツ振興や、市民の融和を図るうえで必要であるが、市単独での整備は困難であり、国・県の財政支援などの財源確保の課題等も含め、調査、検討を進めていく。
- 問** 園児減少による今後の方針について伺う。
- 答** 教育委員会と連携し、幼児教育の専門家の意

新たな多目的運動広場の整備計画は

市立幼稚園の状況は

- 見を聞くなど、幼稚園の在り方について調査・研究を進めていく。
- 問** 草刈り等、保護者の奉仕活動に対するの支援について伺う。
- 答** 保護者の奉仕作業でできない部分は、施設を管理する市が、環境整備を行う。

学校給食費の段階的無料化への見解は 手話言語条例制定、市の考え、取組みは



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

問 学校給食費の無料化や半額補助、一部補助が県内29市町村で広がっている。本市でも段階的無料化に取り組むべきでは。また、心配される給食費の滞納、就学援助制度を必要とする子どもたちが活用できるよう周知徹底の取組みは。

答 新たな財政負担が継続することから、市独自の支援は慎重にならざるを得ない。国の制度改正構築等を注視したい。就学援助制度の周知は、経済的な理由で就学が困難な小・中学生の保

護者に対し、必要な経費を援助するもので、学校通じて保護者に制度を案内し、広報にほんまつ、ウェブサイトへも掲載している。

問 毎年、市と聴覚障がい者団体や手話サークル「こぶし会」との懇談で手話言語条例制定の要望も出されているが、市の考え、取組みは。

答 福島県は、本年12月に県の条例制定を目指している。本市では、本宮市、大玉村と連携して検討するとしており、他の自治体も参考にして、関係者のみなさんと協議し進めたい。



熊田 義春

[市政会]

有害獣対策の進捗状況は

商店街活性化構想計画はあるのか

問 イノシシの捕獲頭数は（平成29年1月～6月、平成30年1月～現在）。

答 県、市事業を合わせた頭数で、平成29年1月108頭、2月106頭、3月126頭、4月136頭、5月91頭、6月71頭となり合計638頭が捕獲され、平成30年1月92頭、2月87頭、3月100頭、4月45頭、5月102頭、6月は14日現在で46頭となり、1月から現在までの合計472頭が捕獲されている。

問 将来に向けた商店街の活性化構想計画はあるのか。

答 二本松市中心市街地商業活性化基本構想の策定に着手し目指す姿は、①二本松ならではのアイデアを取り入れた魅力あるまちの新しさ。②お店めぐりやゆったりした時間を過ごせるまちの快適性。③イベント等により、市内外の来街者を増やすまちの賑わいを掲げ、これら3つの相乗効果により実効性のある施策の検討、反映をしていく考えである。

子育て世代包括支援センターが9月オープン

スカイピアあだたらにパークゴルフ場設置を



小林 均

[公明党]

問 保健師等の人的配置の現状と課題は。

答 保健師2人、事務職1人、助産師1人の4人体制。人事異動等で、一貫した関わりが困難。

問 保育施設の機能充実の現状と課題は。

答 待機児童問題も解消へ向け前進。連携を密にし、効果的支援が行われるよう調整を図る。

問 福祉情報の提供システム構築の現状と課題は。

答 関係部署との情報共有と職員のレベルアップ。

問 産後2週間時の産婦検診の実施の見込みは。

答 平成31年度から実施の方向で検討。

問 母親向けの宿泊型ショートステイも必要では。

答 平成31年度から実施方向で二本松病院と協議。スカイピアあだたらに公認のパークゴルフ場を造って、岳温泉の活性化・二本松市の観光交流人口の増加を図るべきと考えるが。

答 雄大な安達太良山を望めるロケーションを有するスカイピアあだたら内への設置は、岳温泉・安達太良高原の集客施設の1つとして、また観光交流人口増加にもつながる可能性を秘めており、今後検討すべき課題である。